



る全ての病疾; (7) インプラント部位に転移する可能性のある性器腫、肺、皮膚、その他の部位にある感染病疾。感染病疾は、インプラントの移植前、移植途中、および移植後で治療する必要があります。

**無菌性:** ケーブルと留め金は、無菌の状態で供給されます。使用前に無菌を保つ障壁が破損していないかうらう検査してみてください。ケーブルにはシリコンとナットの重合体が含まれています。

**インプラント:** オークレール<sup>®</sup>滅菌や再滅菌法についてください。

SuperCable<sup>™</sup>機器は、販売時点では滅菌の状態ですが、手術に使用する前に次の条件で滅菌する必要があります。

方法	サイクル種別 <sup>1</sup>	滅菌温度 <sup>2</sup>	暴露時間 <sup>3</sup>	乾燥時間
蒸気コートクレーヴ <sup>4</sup>	前真空	最低 132 °C、(270 °F)	4 分	60 分
二重包装 <sup>5</sup>	前真空	最低 134 °C、(273 °F)	3 分	60 分

この前真空化蒸気滅菌サキルは、米国食品药品管理局 (US FDA) によって標準滅菌サキルとはみなされていません。ユーザーは、選択した蒸気サキル (時間および温度) について US FDA が認可した滅菌装置および開発機器 (滅菌ラック、滅菌ボート、科学装置など) のみを使用する必要があります。

"KimGuard<sup>®</sup> KC600 は登録商標です。(以下同様に記述) 許可: ANSI/AAMI/ISO 17665-1:2006 および ANSI/AAMI ST79-2010。

<sup>1</sup>上記は暴露時間のみであり、合計サイクル時間を表すものではありません。

**使用上の注意:** 患者は、この處置に短/長期的な制約があること、十分な回数と回復が得られるまでは、インプラント全体がかかるのを防ぐなければなりませんことを知らせる必要があります。再付着および固定に影響を及ぼすような運動や外傷が原因で、インプラントの痛み、腫脹、損耗が発生し、この位置が失敗したと考えられる報告があります。

構成部品の症候は、骨に損傷を加えるだけでなく磨耗を増加させる可能性があり、再手術の制約を因る原因になります。患者には、活動的制限、骨に無理な力がかかるいために心配が、術後のアフターハンドルの使用による必要があるます。患者には、手術のリスクについて警告し、生じる可能性のある作用について知らせる必要があります。

患者は、装置が正常な健常な人や柔軟性、耐久性、耐候性、また耐久力を再確認できものではない、またることもないと、特に驚きの運動や外因によってインプラントが剥離・損壊する場合があること、装置の確実性を用意するに際して必要な可能性などを警告する必要があります。

通常の症候は、歯科用器具で最も頻度が高い可能性があります。インプラントは、全く適応とされることが非常に重要です。手術に使用する前に失敗がないかどうか、各インプラントを専門で検査する必要があります。

**△ 注意:** ケーブルおよび留め金は、必要に応じて縮め直したり、固定し直すことができます。一度固定したケーブルを抜かず取り外す、再度取り付ける場合は、ケーブルを切断して廃棄し、新しいケーブルを適切な場所に取付けます。これ以外の方法で、固定したケーブルを専門機器で取り出さないでください。

**警告:** これらの装置の配置、位置決め、固定が適切に行われないと、異常応答が発生し、インプラントの耐用年数が短くなる可能性があります。

神経組織構造の損傷を防ぐためにリモーバルバー<sup>®</sup>などの他の機器を使用する場合は十分注意してください。

重大な後遺症の危険を防ぐために、手術の際に機器を配置してから十分時間以上でください。

外科医は、手術の前に手術の手順、機器、インプラントの特徴、「十分精進しておる必要があります」。

隠されている状況でなく、インプラントの位置を観察するに長時間おいてください。

フォアオーバー<sup>®</sup>を行なうことをお勧めします。患者は金属アルミニウムがあらわに見える場合があります。

肥満、重労働、活動的なスポーツへの高さ、軸位の可能、アルコール中毒や薬物滥用などの他の個々の潜在的な大きな負担から場合が多く、その結果、機能不全による可能性のある金属の粒子、または他の破片が原因による可能性があります。

高率の磨耗は、摩擦の原因となる金属の粒子、または他の破片が原因による可能性があります。

標準の磨耗度合の耐用年数を縮め、削除し構成部品の交換するにあたり、予想より手間がかかることがあります。

ケーブルの過度な曲げは、ケーブルの破損、骨骨折部<sup>6</sup>、骨切り部<sup>7</sup>に融合部位の位置の変化を引き起こすことがあります。

骨の再生は、初期の後回復の管理は、リック加成の全般的な状態を十分に考慮する必要があります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。

Supercable<sup>™</sup>の再利用可能なケーブル<sup>8</sup>には、California州では癌発生であるとして知られているホルムアルデヒドなどの化学物質が含まれています。

**術後手術:** 術後手術の併合症には、以下のものがあります。

(1) 初回または後回復の手術: 剥離や粘膜、膿瘍、および皮膚の炎症や細胞の死滅による手術の副作用はインプラントによるものです。

(2) 痛み: 過度の緊張、初期の皮膚の炎症、または手術の不規則な挙動によって発生します。

(3) 不適な再結合および初期の体重負担: 合併症。

(4) 進行性の脊椎狭窄症: 後回復の運動と歩行法について詳しく示すとおりに、腰痛に対する治療が必要あります。